

平成 27年 7月 1日

東海構造研究グループ代表
館石 和雄 殿

SGST 研究委員会 起案書

起案者氏名 木下 幸治
所属機関 岐阜大学

下記の通り、SGST 研究委員会を立ち上げたく、起案書を提出します。

研究委員会名： 最新技術・情報調査研究委員会

研究趣旨：

我が国の社会資本ストックは高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に高齢化する。社会資本の維持管理・更新は、国のみならず、社会資本の大部分を管理している地方公共団体を含めた、我が国全体の大きな問題となっている。今までの技術開発では新設に力点を置いてきたが、今後は保全・診断を含めたより効率的・効果的な維持管理・更新のための技術開発についても積極的に行い、得られた成果の基準化、標準化を推進することの重要性が強調されている。

本研究委員会においては、民間企業の取り扱っている構造物に関する最新の技術（製品含む）と情報を紹介頂くことで会員の最新の技術・情報の取得を目指すとともに、討議により構造工学に関する学術への進歩の寄与への適用性、将来的な展開の可能性について調査研究を行うものである。本研究は、土木構造に関するあらゆる領域について研究する東海構造研究グループの趣旨に適合している。

対象は、30代以上のSGST中堅技術者以上（20代も歓迎）とする。気軽に参加できる情報交換会をめざす。

本委員会の成果はSGST報告書作成を考えている。新技術・新工法は、今後より積極的・継続的に開発が進むことが予想されるが、本研究委員会では時間・費用とも制約があるため、研究成果は明確な結論が出なくても、今後の研究の端緒になればよいと考えている。